

（公財）福井県文化振興事業団
設立40周年記念特集

季刊 旬のブンカが集うコミュニティマガジン ブンカ BUNKA

vol.
88
2023
spring



旬の文化が集うコミュニティマガジン 季刊
ブンカ
BUNKA
vol.88
2023.3.15

発行 公益財団法人 福井県文化振興事業団 福井県立音楽堂「ハーモニーホールふくい」
〒918-8152 福井市今市町40-1-1 ☎0776-388288 <https://www.hhf.jp>

(公財)福井県文化振興事業団
ハーモニーホールふくい

Interview
正統派フルーティストが語る
音楽にとって大切なこと

フルーティスト 神田寛明氏



CONCERT INFORMATION

2023.4 - 2024.3

「ハーモニーホールふくい」コンサート情報

一般発売日 1月28日(土)

5.6(土) 沖澤のどか指揮
14:00開演 ヤナーチェク・フィルハーモニー管弦楽団
ピアノ:矢賀部光夏多

一般発売日 3月18日(土)

5.28(日) 原田慶太楼指揮
14:00開演 ウインドオーケストラ・コンサート
～宇宙のかなたへ～ フルート:神田寛明

6.3(土) めざましクラシックス in FUKUI
16:00開演 清塚信也ヴァージョン

6.16(金) 邦楽×日本舞踊×ピアノ
19:00開演 アップアートされる伝統～古典から現代まで～

一般発売日 4月22日(土)

7.2(日) ハーモニーぴくにつく
10:00,12:00開演 こんにちは、あなたはだあれ?

7.14(金) 徳永雄紀 ピアノリサイタル
19:00開演

一般発売日 5月27日(土)

8.5(土) 若い芽コンサート2023
19:00開演

8.23(水)~27(日) おと・ラボ
～いろいろな音をつくってきいてみよう～

一般発売日 6月24日(土)

9.1(金) 山本紘子 ヴァイオリンリサイタル
19:00開演 脈動～原点から未来へ～

9.9(土) 小野リサ ポサナバ・コンサート2023
15:30開演

9.28(木) ローレンス・レネス指揮
19:00開演 東京都交響楽団
ヴァイオリン:服部百音

※各種発売日は下記の通りです。(電話、窓口、インターネット)

特別協賛会員先行:一般発売の4日前
友の会会員先行:一般発売の3日前
一般発売日:記載日

一般発売日 7月29日(土)

10.20(金) 荘村清志・福田進一・鈴木大介・大萩康司
19:00開演 ギターの饗宴 "DUO×DUO"

一般発売日 8月26日(土)

11.3(金・祝) 秋の子ども音楽会
11:00,14:00開演 「ステージできく」コンサート(仮題)

11.12(日) ピアニスト横山幸雄と過ごす
13:30,16:30開演 贅沢なひととき

11.25(土) ケルティック・クリスマス2023
15:30開演 アイリッシュ・トラッドの最高峰 ダーヴィツシュ

一般発売日 9月16日(土)

12.9(土) The Legend
15:00開演

一般発売日 10月28日(土)

1.7(日) ニューイヤーコンサート2024
15:00開演 トマーシュ・ブラウネル指揮 プラハ交響楽団
ピアノ:牛田智大

一般発売日 11月18日(土)

2.17(土)18(日) トリオAXIS ～ファイナルステージ～

一般発売・整理券配布開始日 12月16日(土)

3.3(日) 福川伸陽&鈴木優人 with FRIENDS
14:00開演 ～プラスとオルガンの秀麗な響き～

3.10(日) N響
17:00開演 大河ドラマ&名曲コンサート

令和5年度
3.20(水・祝) 福井ジュニア弦楽アンサンブル・セミナー
15:00開演 成果発表会

※原則として、就学前のお子様のご入場はご遠慮いただいております。
※公演情報は2023年3月1日現在のものであり、都合により変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

越のルビープロジェクト公演



チケットのご予約・お問い合わせ

ハーモニーホールふくいチケットセンター
TEL.0776-38-8282
[10:00～17:00・休館日を除く]
休館日:月曜日(ただし、月曜日が祝日の場合は翌火曜日)

チケットはネットから
休館日も含めて
365日24時間
いつでも購入できます!
ホームページ
<https://www.hhf.jp/>



ご挨拶



公益財団法人福井県文化振興事業団

理事長 **八木 誠一郎**

このたび、当事業団は設立40周年を迎えることとなりました。これもひとえに県民の皆様はじめ県、市町および経済界の皆様のご支援によるものと深く感謝申し上げます。

1982年、当事業団は、県民の文化愛好の機運を盛り上げ個性豊かで創造性に富んだふくい文化づくりの振興を目的として設立されました。以来、優れた芸術文化の提供や特色ある地域文化の発掘、県内文化の発信など様々な事業に取り組んで参りました。

更に1997年からは、福井県立音楽堂「ハーモニーホールふくい」の管理運営を行っております。地域の音楽団体や愛好家の発表の場として有効にご利用いただくとともに、国内外の優れたオーケストラや一流アーティストによる多彩な公演をお届けし、県民に文化への関心を深めてもらえるよう努めているところです。加えて、小学生対象のオーケストラ鑑賞会など、次世代育成事業を実施して音楽堂を拠点とした様々な音楽文化振興事業を展開しております。

一方、地域文化振興においては、地域に根差した文化活動を顕彰する「野の花文化賞」の実施や、県内文化施設と連携して県民の文化への関心と理解が育まれるよう、文化活動支援を行っております。更に2021年度からは、アートによる賑わい創造を目指して、芸術文化アドバイザーの設置や地域アートプロジェクトに対する支援にも着手しております。

地域の優れた文化は地域の活性化や地域リノベーションの源にもなります。日々の暮らしの中において心身ともに豊かにしてくれる地域の文化創造の力は我々の誇りです。

設立40周年の節目に、事業団設立の趣旨に立ち返り、本県の文化振興の要として今後も様々な事業展開を図り、潤いのある豊かな暮らしと県民の皆様のご活躍を生み出す一助になれば幸いです。福井県の文化振興に一層尽力する所存です。

最後になりましたが、皆様のご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

今号の表紙

金崎宮(敦賀市)



近くにある赤レンガ倉庫は、古き良き国際都市敦賀のまちなみを再現したジオラマやカフェ・レストランを備え、デートスポットとしても人気。



赤レンガ倉庫

金崎宮
住所/敦賀市金ヶ崎町1-4
TEL/0770-22-0938
【花換まつり】
令和5年3月30日(木)~4月11日(火)
※花換神事は4月1、2日と8、9日の
土日に開催予定

「花換えましょう」の声かけて春を呼び込む「恋の宮」

敦賀湾を見下ろす高台にある金崎宮。かつてこの地にあった金ヶ崎城では、織田信長や豊臣秀吉、徳川家康などの戦国武将が数々のドラマを繰り広げました。また、お市の方が兄・信長に両方の口をひもで結んだ小豆袋で浅井氏の裏切りを知らせたエピソードも伝わります。そして今、ここは「恋の宮」として注目を集めています。

金崎宮の「花換まつり」は、桜見物に訪れた男女が「花換えましょう」と声をかけ合い、桜の小枝を交換することで想いを伝えたとされる祭り。明治40年代に始まり、出会いが少ない時代に男女の出会いを取り持つ恰好の機会でした。

時を経て、今ではご縁を願う人やカップルをはじめ、広く幸せを分かち合おうという人々にぎわいます。桜の季節に行われるロマンチックなお祭り。県外からの来訪者にも紹介したい、福井のトっておきです。

※今年度の表紙の写真は、魚眼レンズを付けたカメラで4方向360度撮影したものをパノラマ合成したものです。

CONTENTS

- 1 今号の表紙
- 2 (公財)福井県文化振興事業団 設立40周年記念特集 **ご挨拶** 公益財団法人福井県文化振興事業団 理事長 八木誠一郎氏
- 3 (公財)福井県文化振興事業団 設立40周年記念特集 **設立40周年記念インタビュー** 帰山美智栄氏 荒井由泰氏
- 5 (公財)福井県文化振興事業団 設立40周年記念特集 (公財)福井県文化振興事業団および福井県立音楽堂の歩み
- 7 Interview **正統派フルーティストが語る 音楽にとって大切なこと** フルーティスト 神田寛明氏
- 9 「ハーモニーホールふくい」自主公演情報
- 13 Essay **結の故郷越前おおのに息づく アート支援の精神** 文 朝倉由希氏
- 14 アートシーンを召し上がれ **高嶋ゆい氏** (アーティスト)
- 15 私の好きなハーモニーホールふくい **山田和樹氏** (指揮者) / **カーテンコール**
- 16 アートに会いに「**タケフナイフビレッジ 川崎和男展示室**」(越前市) / **モノガタリはここから「九十九橋」**(テレビドラマ チア☆ダン)
- 17 2023年 4~6月開催「**ハーモニーホールふくい**」コンサート情報
- 14 Information

設立40周年記念インタビュー

40th Anniversary Interview

福井県文化振興事業団は1982年の設立以来、芸術文化の鑑賞機会の提供や人材育成などに取り組んできました。県立音楽堂の管理運営も担い、幅広く芸術活動を支援しています。これまで評議員や理事として尽力してこられたおふたりに、自らの活動や福井の文化への思いを語ってもらいました。



荒井由泰氏

あらいよしやす ●県文化振興事業団設立5年目の1987年～98年まで長年にわたり事業団の評議員、名誉評議員として運営に尽力。勝山市在住。



帰山美智栄氏

かえりやまみちえ ●県文化課で県立音楽堂基本計画策定を担当、1998年県文化振興事業団派遣。専務理事などを歴任して2007年まで運営に尽力。鯖江市在住。

演奏家が居心地よい県立音楽堂 その感動を伝え25周年

世界に誇れる音響 新しい文化を発信

本年度、開館25周年を迎えた福井県立音楽堂（ハーモニーホールふくい）。帰山美智栄さんは県職員として基本計画策定から携わり、開館後は副館長や県文化振興事業団専務理事などとして運営を担ってきました。

「県内に多目的ホールはたくさんありましたが、音楽家からは、音響がいい本格的なホールがほしいという要望が出ていました。それが建設の発端でした」

新たな文化発信を担う音楽堂にはオーケストラなどが演奏する大ホールとアンサンブル、邦楽、伝統芸能、講演会など幅広い

く利用できる小ホールがあり、ともに世界に誇れる音響を実現しました。大ホールに隣接してリハーサル室、充実した楽屋やアーティストロビーも設けられました。

「いい建物が必要かという、演奏家に居心地よく素晴らしいホールという印象が残ると、いい音楽が生まれる。その音楽家の感動がお客さんにも伝わるからなのです」

成功に導いた 岩城宏之さん

音楽堂建設の背景には、福井県音楽アドバイザーに就任した指揮者・岩城宏之さんと作曲家・

好奇心からアートの世界へ 人をつなぐパワーこそ文化の力

学生時代に芸術体感 小コレクター運動に

荒井由泰さんとアートとの出会いは、学生時代にさかのぼります。

「好奇心から絵画やクラシック音楽に関心をもち、展覧会やコンサートに出掛け始めたのは慶応義塾大学に入学後のことです。さらに本物の絵や音楽を体験したいと1年間休学してフランス語研修と欧州旅行を実現させました。パリを中心に美術館やコンサートにも足しげく通いました。ユースホテルに泊まる貧乏旅行でしたが、コンサートは料金が安く、パーンスタインやカラヤンとバリ管弦楽団との

共演にも接することができました。また、卒業後すぐニューヨークの会社に勤務する機会に恵まれ、そこでもアーティストが集うソーホーや美術館、コンサートにもせっせと出掛けました」

帰国後の1978年、仲間を誘って「アートフル勝山の会」を立ち上げ、展覧会を中心とした文化活動を開始しました。

「アートへの思いが断ちがたく、地方では自分たちが行動しないと楽しいことは何も起こらないと考えたからです。活動を通して、福井はアーティストをもてなす力が弱いと実感しました。アートの価値が低くみられていたように思います。それは

広瀬量平さんの存在が大きかったと帰山さん。

「世界のホールに精通されていた岩城さんは、「外観が印象深い上、聴衆が聴きやすく、演奏家が演奏しやすいのが良いホールだが、国内にはほとんどない。このホールは何十年か後には世界に誇る音楽堂になる」と言われていました」

岩城さんは設計段階から音楽堂に関わり、こけら落とし公演に向け県民による総勢1300人の祝祭オーケストラと合唱団を指導し、マーラーの交響曲第2番「復活」を指揮してもらいました。「震災、震災から復活を遂げた福井をイメージした選曲でした」

こうしたソフト事業は開館2年前から準備され、多彩な公演が実現しました。帰山さんの記憶にはウィーンフィル、中村紘子、小澤征爾、野村万作、吉田篤助、井上八千代、五木ひろし、ほかにも多彩な一流アーティストの姿がよみがえります。

力を入れた公演は 福井ゆかりの作品

企画にあたっては「福井県ゆかりのものをどう取り入れるか

残念なことでした」。

磯崎新氏が設計した中上邸を拠点に画家の瑛九や池田満寿夫、元永定正、難波田龍起、版画の木村利三郎、野田哲也、彫刻の関根伸夫、舟越桂、土屋公雄ら各氏の企画展を次々開催。結果的には福井の先輩たちが尽力した「小コレクター運動」そのものでした。

「活動を後押ししたのは「作家を支持することは、褒めることではなく、黙って作品を買うこと」との先輩の言葉でした」

アートの力を見せ 愛情を育てたい

1987年からは、県文化振興事業団の評議員として福井県の文化活動を見守ってきました。その荒井さんには、学生時代に出会ったひとりの忘れられない人物がいます。

欧州旅行からの帰路、1971年、ノルウェーのオスロ駅近くで偶然出会った桜井武さんです。大学の先輩で、美術のことなど熱く語り合いました。桜井さんは2008年から熊本市現代美術館館長として活躍されましたが、19年に病気で亡くなりました。

桜井さんは生前、美術館の基

に苦心した「そうです。津村節子さんによる「福井モダン」や、水上勉さん原作で有馬稲子さんが語る「はなれ替女おりん」などが上演されました。こうした自主公演から福井発の新しい文化が生まれました。

教育普及事業にも力を入れ、福井県と関係が深いハーブ、マリッパの公演、奏者の育成、ジュニア弦楽アンサンブルやオルガニストの育成、若手演奏家の育成を目指したコンサートなどを展開しています。

音楽堂の管理運営は1997年から県文化振興事業団が受託し、2006年には指定管理者になりました。

これからの音楽堂の在り方について帰山さんは、「県民が日常的に使える小ホールや展示ギャラリーは、ちょっとした工夫で地域文化の創造につながります」とアドバイス。その上で「県内各地にある施設の拠点として情報発信を」と期待しています。

また、県文化振興事業団に対しては「本来の設立の趣旨に沿って、音楽に限らず地域文化全般の振興に取り組んでもらいたいですね」とエールを送っています。

文化を身近に感じ 裾野を広げる工夫を

では、文化の力を育てるにはどうすればよいのでしょうか。実は都道府県幸福度ランキングで総合1位の福井県は2022年版で文化分野では41位でした。

「好奇心を刺激し、もう少し文化が身近に思える仕掛けが必要でしょう。例えば展覧会場で作品について子どもに解説するとか、出前講座を開くとか、親子で鑑賞できる機会を設けること。新しいことにチャレンジする若い人が活躍できる場を増やすことで愛情を育てる。そうした文化の裾野を広げる努力で人をつなぐとともに、音楽でもアートでも一流のものを見せてその力を培う。そのバランスをどうとるかに知恵を絞りたいものです」

(公財)福井県文化振興事業団 および福井県立音楽堂の歩み

(公財)福井県文化振興事業団 (設立S57.10.1)				福井県立音楽堂 (開館H9.9.20)			
歩み	理事長	野の花文化賞	刊行物	年度	歩み	施設整備	来館者数
			野の花文庫 季刊「ブンカ」				福井の文化 文化ハンドブック
S56.11				1981年度 (昭和56年)			人
S57.10.1	財団法人設立	木村善左衛門氏		1982年度 (昭和57年)			
1		第1回	創刊号(S58.1) 2号(S58.6) 3号(S58.10)	1983年度 (昭和58年)			
2		第2回	4号(S59.4) 5号(S59.10)	1984年度 (昭和59年)			
3		第3回	6号(S60.4) 7号(S60.10)	1985年度 (昭和60年)			
4		第4回	8号(S61.4) 9号(S61.10)	1986年度 (昭和61年)	S61.5 福井県立音楽堂建設調査委員会の設置 S61.10 福井県立音楽堂建設調査委員会から「基本構想中間報告」を受理		
5		第5回	ふいの祭り 杉原丈夫著 (S63.1)	1987年度 (昭和62年)			
6		第6回	ふいの文学 南信雄著 (S63.10)	1988年度 (昭和63年)			
7	小野光太郎氏 就任 H元.11.1	第7回	ふいの工芸 原光子生著 (H2.3)	1989年度 (平成元年)	H2.3 福井県立音楽堂建設調査委員会から「基本構想報告書」を受理		
8		第8回	ふいの古代 白崎昭一郎著 (H3.3)	1990年度 (平成2年)			
9		第9回	18号(H3.4) 19号(H3.10)	1991年度 (平成3年)	H3.6 「県都問題懇談会」で建設場所に福井市今市町地帯を選定 H3.7 福井県立音楽堂基本計画策定委員会を設置 H4.2 福井県立音楽堂基本計画策定委員会から「基本計画報告書」を受理		
10	設立10周年記念誌 (H4.10)	第10回	20号(H4.4)	1992年度 (平成4年)	H5.2 設計競技入選作品の決定 基本計画完了		
11			21号(H5.6) 22号(H6.1)	1993年度 (平成5年)	H5.4 実施設計 (2年5月)		
12		第11回	ふいの川 上杉喜寿著 (H7.3)	1994年度 (平成6年)	H6.10 愛称募集実施 H7.2 愛称「ハーモニーホールふくい」に決定 H7.3 福井県立音楽堂企画運営検討委員会・オープニング事業検討委員会 を開催(～平成9年度)		
13			25号(H7.8) 26号(H8.3)	1995年度 (平成7年)	H7.12 福井県から(財)福井県文化振興事業団に開館記念事業準備を委託		
14		第12回	27号(H8.9) 28号(H9.3)	1996年度 (平成8年)	H8.4 イメージマークの決定 H8.7 福井県立音楽堂の設置および管理に関する条例公布		
15			29号(H9.9) 30号(H10.2)	1997年度 (平成9年)	H9.4 正式名称「福井県立音楽堂」に決定 福井県から(財)福井県文化振興事業団に管理運営を委託 貸館予約開始 H9.6 開館記念事業チケット発売開始 友の会「ハーモニーメイト」発足 H9.9 小野光太郎氏 初代館長に就任(9.1) 福井鉄道福武線「ハーモニーホール駅」完成 福井県立音楽堂「ハーモニーホールふくい」開館(9.20)	開館 109,487 109,487	
16		第13回	31号(H10.9) 32号(H11.3)	1998年度 (平成10年)	H10.12 「サラムカホール」(財)岐阜県民ふれあい会館…宣言時)と 友好ホール宣言	159,430 268,917	
17			33号(H11.9) 34号(H12.3)	1999年度 (平成11年)		155,878 424,795	
18		第14回	ふいの建築 吉田純一著 (H13.3)	2000年度 (平成12年)	H13.2 ロストロボヴィチ氏(2.11 ロンドン交響楽団指揮後の感想) 「私にとって音楽を演奏するうえでコンサートホールが基本である。この 様なコンサートホールをみんな造りたいと願っているが、このレベル迄達 しているコンサートホールはまず無い。この福井ハーモニーホールは世 界でも最高レベルと思う。」	155,402 580,197	
19	設立20周年記念式典 (H14.2.7.ふるさとの日)	季刊「ブンカ」 1～4号	37号(H13.9) 38号(H14.3)	2001年度 (平成13年)		157,972 738,169	
20		第15回	39号(H14.9) 40号(H15.3)	2002年度 (平成14年)	H14.9 ニュージャーニー・パフォーマンス・アート・センター (1997.10.18開館、略称：NJPAC)との姉妹提携(9.28) H14.9 開館5周年記念事業を開催(9.28～29)	177,307 915,476	
21		季刊「ブンカ」 9～12号	41号(H15.9) 42号(H16.3)	2003年度 (平成15年)	H15.8 来館者数 100万人を達成 H15.10 バイオオルガン設置工事に伴う大ホール閉鎖(10.7～16.3.31)	140,121 1,055,597	

(公財)福井県文化振興事業団 (設立S57.10.1)				福井県立音楽堂 (開館H9.9.20)			
歩み	理事長	野の花文化賞	刊行物	年度	歩み	施設整備	来館者数
			季刊「ブンカ」				当年/累計
22		第16回	13～16号	2004年度 (平成16年)	H16.4 バイオオルガン設置完了 H16.5 バイオオルガン開き 特別コンサート(5.8～9)		155,610 1,211,207
23			17～20号	2005年度 (平成17年)	H17.9 福井県立音楽堂指定管理者募集開始(9.1) 指定申請に伴う事業計画書の提出(9.30) H17.10 小野グループがストラディヴァリウスを福井県へ寄託(10.18) 指定管理者選定委員会面接審査(10.20) H17.11 福井県教育委員会から(財)福井県文化振興事業団がストラディ ヴァリウスの管理を受託(11.1) H17.12 福井県教育委員会から指定通知(12.20) H18.3 福井県立音楽堂の管理に関する基本協定書の締結(3.27)		161,107 1,372,314
24		第17回	21～24号	2006年度 (平成18年)	H18.4 福井県立音楽堂指定管理者【第1期：3年間】 H18.5 クライヴ・ギリンソン卿(カーネギー・ホール経営責任者兼芸術監督)が ハーモニーホールふくいの名誉顧問に就任(5.16)		188,868 1,561,182
25	松浦正剛氏 就任 H19.6.1		25～28号	2007年度 (平成19年)	H19.6 松浦正剛氏 館長に就任(6.1) H19.9 開館10周年記念事業を開催(9.16～24)		189,593 1,750,755
26		第18回	29～32号	2008年度 (平成20年)	H20.9 福井県立音楽堂指定管理者募集開始(9.30) H20.10 指定申請に伴う事業計画書の提出(10.7) 指定管理者選定委員会面接審査(10.21) H20.11 福井県教育委員会から指定通知(11.19) H21.3 福井県立音楽堂の管理に関する基本協定書の締結(3.27)		191,223 1,941,998
27			33～36号	2009年度 (平成21年)	H21.4 福井県立音楽堂指定管理者【第2期：5年間】 H21.6 第60回全国植樹祭で天皇・皇后両陛下下幸啓で御来館(6.7) H21.7 来館者数 200万人を達成		193,724 2,135,722
28		第19回	37～40号	2010年度 (平成22年)	H22.5 小野光太郎氏 名誉館長に就任(5.20)		180,101 2,315,823
29			41～44号	2011年度 (平成23年)			193,566 2,509,389
30		第20回	45～48号	2012年度 (平成24年)	H24.4 川田達男氏 館長に就任(4.1) H24.5 インターネット「デイリー・ニュース・エイジェンシー」のアートデザイン部門 で「いつかはここで生演奏を聞いてみたい世界の非常に美しいコン サートホール25選」として国内で唯一紹介される。 H24.9 開館15周年記念事業を開催(9.21～23)		204,044 2,713,433
31		H25.4.1 公益財団法人設立	49～52号	2013年度 (平成25年)	H25.8 福井県立音楽堂指定管理者募集開始(8.12) H25.10 指定申請に伴う事業計画書の提出(10.9) H25.11 指定管理者選定委員会面接審査(11.5) H25.12 福井県から指定通知(12.17) H26.3 福井県立音楽堂の管理に関する基本協定書の締結(3.27)		197,844 2,911,277
32		第21回	53～56号	2014年度 (平成26年)	H26.4 福井県立音楽堂指定管理者【第3期：5年間】 H26.9 来館者数 300万人を達成 H27.1 地域創造大賞(総務大臣賞)を受賞		211,327 3,122,604
33			57～60号	2015年度 (平成27年)			210,244 3,332,848
34		第22回	61～64号	2016年度 (平成28年)			201,161 3,534,009
35			65～68号	2017年度 (平成29年)	H29.9 開館20周年記念事業を開催(9.23)		198,102 3,732,111
36		第23回	69～72号	2018年度 (平成30年)	H30.8 福井県立音楽堂指定管理者募集開始(8.24) H30.10 指定申請に伴う事業計画書の提出(10.9) 指定管理者選定委員会面接審査(10.23) H30.11 福井県から指定通知(11.26) H30.3 福井県立音楽堂の管理に関する基本協定書の締結(3.27)		186,464 3,918,575
37			73～76号	2019年度 (令和元年)			174,581 4,093,156
38		第24回	77～80号	2020年度 (令和2年)	R24 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う「緊急事態宣言」を受け、 臨時休館(4.25～5.20) R26 「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策指針～音楽堂ではうつ らない、うつさない～」を策定		53,098 4,146,254
39			81～84号	2021年度 (令和3年)			102,322 4,248,576
40		第25回	85～88号	2022年度 (令和4年)	R44.1 「常務理事」を新設 事務局に「アート振興部」を 設置		

フルーティスト

神田 寛明

Hiroaki Kanda

正統派フルーティストが語る
音楽にとって大切なこと

取材協力：桐朋学園大学

かんだ・ひろあき●NHK交響楽団首席フルーティスト
桐朋学園大学教授。1991年第5回日本フルートコンベンションコンクールおよび第8回日本管打楽器コンクールにおいて第1位。1993年東京藝術大学卒業。1995年より1年間ウィーン国立音楽大学に留学。2007年東京藝術大学大学院修了。安宅賞受賞。赤星恵一、全品国、細川順三、ヴォルフガング・シュルツ、ハンスゲオルグ・シュマイザーの各氏に師事。各種コンクール審査員。東京藝術大学講師。アジア・フルート連盟東京常任理事。日本フルート協会特任理事。

華のある楽器、フルート
その魅力

きたる5月、原田慶太楼指揮の播磨国吹奏楽団コンサートで、フルート協奏曲のソリストを務める神田寛明さん。普段はNHK交響楽団の首席フルーティストとして活躍しているので、特徴のある黒いフルートを吹く姿をテレビなどでご覧になった方も多いかもしれません。

「黒い木の楽器を使い始めたのは1999年、N響の首席になった時からです。最初は金の楽器と作品によって使い分けていましたが、ある時から全部これで演奏するようになりました。グラナデイラというアフリカ原産の黒くて硬い豆科の木で作られていて、昔からあった木のフルートに比べて音が大きく、また音に広がりがあるのが特徴です」

オーケストラの中でフルートはまさに「花形楽器」。ステージのほぼ真ん中に座り、ソロ・パートも目立つ「アイドル」です。「周りからチャホヤされていますが(笑)、逆にチャホヤされ



オンラインで神戸国際フルートコンクールを審査する(2022年3月21日、自宅にて)

ないと存在できないんです。音色も軽やかですし、オケの中で演じる役割も決まっている。代表的なのは小鳥ですね。だから、ダークで太い音色が好まれたロマン派の作曲家にはあまりフルートのための作品がありません。それ以前、モーツァルトの時代などは、楽器の構造がシンプルで音も出やすく、持ち運びも簡単だということでアマチュアの愛好家がたくさんいたことが知られています」

出会いは偶然、でも
良き師に導かれて

神田さんが初めてフルートと出会ったのは小学校3年生の時だそう。

「両親ともにクラシック音楽を聴くのが好きで、僕もテレビ

で「オーケストラがやってきた」や「題名のない音楽会」をよく観ていて、それで最初はクラリネットをやりたい、と思ったんです。ところが実際に楽器店に行ってみたらクラリネットは重いし、音がなかなか出ない。フルートなら、ということで購入してもらったのが最初です。それから、赤星恵一先生のところから、個人レッスンに通い始めたんですが、この赤星先生がかなり異色のフルート奏者で、モットーは「立派な社会人になれ。半年ぐらいたら一通り音が出るようになったらジュニア・オーケストラに入るようになりました。それでもプロの演奏家になろうとは全然考えておらず、高校時代はフルートを辞めて、バンドを組んでドラムを叩いていました」

そんな神田さんですが、大学受験を考えた時に、やはり音楽を勉強したいと思い、再びフルートを手に。1年の浪人生活を経て見事東京藝術大学に合格。現在は桐朋学園大学教授を務めるかたわら、母校の藝大でも講師を務めています。

音大で学ぶということ
音楽を学ぶということ

「毎年多くの学生が、例えばエマニュエル・バユのような演奏家になりたい、N響に入りたいといった夢を抱いて音大に入学してきますが、その中で実際に夢を叶えられるのは一握りしかない。そのような現状の中で、音大生に教えられることは何か、ということもいつも考えています。

音楽家というのは、実は楽器を練習しているだけではダメで、学ばなければならないことがたくさんあるんです。その作品を書いた作曲家の背景や、その時代に他にどんな作曲家がいるか、どんな音楽があったのかを知ることはたいへん重要。自分

のフィードバックだけでは表現はできない。音大は、本当に美しいと思うものを表現するために何をすべきか、何を学ぶのかという「学び方」を学ぶ場所であるべきだと思います」

クラシック音楽の演奏家は「歴史を扱う仕事」だと神田さん。楽器のスペシャリストは、歴史や文化、言語など様々な「学び」の土台の上にあるということ。音楽を学ぶすべての人にとってとても大切なお話だと感じました。

構成・文／室田尚子
(音楽評論家)

5/28(日)

協賛：SMFUKU

原田慶太楼指揮
ウインドオーケストラ・コンサート
～宇宙のかなたへ～
フルート：神田寛明

●大ホール／開場 13:15 開演 14:00
●全席指定・車いす席 ¥4,000 (小～大中学生:半額)
出演／指揮：原田慶太楼、フルート：神田寛明、オルガン：石丸由佳
吹奏楽：播磨国吹奏楽団
(共催：福井テレビ、協力：福井県吹奏楽連盟) ※詳細はP.10へ

沖澤のどか指揮
ヤナーチェク・フィルハーモニー
管弦楽団
ピアノ:矢賀部光夏多

5.6 土

13:15開場 14:00開演/大ホール
S席・車いす席 ¥8,000 A席 ¥7,000
B席 ¥6,000 バックシート ¥4,000
(小~大学生:半額)

出演/指揮:沖澤のどか
ピアノ:矢賀部光夏多
管弦楽:ヤナーチェク・フィルハーモニー管弦楽団
曲目/スメタナ:「わが祖国」から「モルダウ」
シューマン:ピアノ協奏曲 第1番
ドヴォルザーク:交響曲 第9番「新世界より」
(主催:福井テレビ
特別協力:いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭実行委員会)

チケット発売中

世界が目にする指揮者
沖澤のどか、初来福!

ゴールデンウィーク恒例「風と緑の楽都音楽祭」のサテライトコンサートが、今年も福井で開催されます。今年も今も注目を浴びる指揮者・沖澤のどかが登場。沖澤は東京藝術大学で学び、2019年に世界的な指揮者の登竜門であるプザンソン国際指揮者コンクールで優勝。その後、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団でキリル・ペトレンコのアシスタントを務め、2022年にはウクライナのための連帯コンサートでベルリン・フィルを指揮し大きな話題となりました。2022/23年シーズンはミューンヘン交響楽団のアーティスト・イン・レジデンス、そし



指揮:沖澤のどか



ピアノ:矢賀部光夏多

て2023年4月からは京都市交響楽団常任指揮者に就任するなど、世界のオキザワとして着実にその活躍の場を広げてきています。そんな沖澤が今回タクトを振るのはチェコ第3の都市オストラヴァに本拠地を置く名門ヤナーチェク・フィルハーモニー管弦楽団。オストラヴァはチェコを代表する作曲家ヤナーチェク終焉の地でもあります。ヤナーチェクはモ

この2作品に挟まれたシューマンのピアノ協奏曲第1番に登場するのは、2022年の「若い芽コンサート」に出演した矢賀部光夏多。中学生ながら数々

「新世界より」は彼がアメリカ滞在中に描いた作品で、交響曲の歴史に燦然と輝く名曲として世界中で演奏されています。

代表する作曲家。交響曲第9番「新世界より」は彼がアメリカ滞在中に描いた作品で、交響曲の歴史に燦然と輝く名曲として世界中で演奏されています。



管弦楽:ヤナーチェク・フィルハーモニー管弦楽団

のコンクールで受賞歴がある期待の若手ピアニストです。沖澤がどうリードし、それに矢賀部がどう応えるのか。フレッシュな才能が繰り広げる演奏にも注目です。

レオシュ・ヤナーチェクは1854年に現在のチェコ東部にあたるモラヴィア地方で生まれました。チェコは歴史的に東部のモラヴィア、西部のボヘミア、そして北東部のシレジアの三つの区分に分けることができ、ボヘミアとモラヴィアでは文化や言語などが異なっています。特にヤナーチェクが作曲の拠り所としたモラヴィアの民俗音楽は大きな独自性を持っているといわれています(ちなみにドヴォルザークは北ボヘミアの出身)。

ヤナーチェクの名前は、日本では村上春樹の小説「1Q84」に登場したことで一般にも知られるようになりました。音楽ファンにはドヴォルザークと親交があった作曲家として、またいくつかのチェコ語のオペラで知られているかもしれません。チェコは日本にとっては遠い国ですが、その音楽は国境を超えて感動をもたらしてくれました。本公演がチェコと日本を結ぶ絆のひとつになれば幸いです。

協賛: FM FUKUI
原田慶太楼指揮
ウインドオーケストラ・コンサート
~宇宙のかなたへ~
フルート:神田寛明
5.28 日

13:15開場 14:00開演/大ホール
全席指定・車いす席 ¥4,000
(小~大学生:半額)
出演/指揮:原田慶太楼
フルート:神田寛明
オルガン:石丸由佳
吹奏楽:播磨国吹奏楽団
曲目/小田実結子:夜明け(Dawn)
マイク・モウアー:フルートと吹奏楽のための協奏曲
ジョン・ウィリアムズ:スター・ウォーズ メイン・タイトル
ホルスト:組曲「惑星」から「木星」ほか
(共催:福井テレビ、協力:福井県吹奏楽連盟)



チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛:3/14(火) 友の会:3/15(水)
一般 3/18(土)

気鋭の指揮者が誘う
吹奏楽で綴る宇宙の旅

原田慶太楼はアメリカで学び、20年からはサヴァンナ・フィルハーモニックの音楽・芸術監督を務めながら、そのインターナショナルな音楽センスでヨーロッパやアジアでも活躍する指揮者です。日本では2021年に東京交響楽団正指揮者に就任。また各地のオーケストラにも次々に客演し、名実ともに人気指揮者の地位を築いています。

そんな原田が今回福井の皆様にお届けするのは吹奏楽。共演する播磨国吹



指揮:原田慶太楼



フルート:神田寛明



オルガン:石丸由佳



吹奏楽:播磨国吹奏楽団

奏楽団は、コロナ禍の2020年に実施された「音楽のまち・ひめじレミゼパロジエクト」で「レ・ミゼラブル」の音楽を演奏するために阪神・姫路間を拠点に活躍するプロ管打楽器奏者が集まって立ち上げた団体で、翌2021年にはメンバーを増やして正式にデビューを飾りました。高い演奏水準で吹奏楽の可能性を追求する、期待の楽団です。

今回のコンサート、前半には日本人作曲家や世界初演を含む現代作品を集めました。中でも注目されるのはイギリスの作曲家マイク・モウアーの「フルートと吹奏楽のための協奏曲」で、ソリストとしてNHK交響楽団の首席フ

フルート奏者・神田寛明が登場。自身もフルート奏者として活躍するモウアーが描く、ジャズとクラシック音楽を融合させた新しい音楽を神田がどう表現するのか、大いに期待がかかります。

後半は、映画「スター・ウォーズ」のナンパーとホルストの組曲「惑星」を交互に演奏するという原田らしいプログラム。広大な宇宙を舞台に繰り広げられる戦いと愛を描いたジョン・ウィリアムズの音楽と、太陽系の星々のすがたを描写していくホルストの音楽がクロスオーバーする、たいへんエキサイティングな演奏会となるにちがいない。また「惑星」には権威あるチャールズ・イヴが指揮するフルートと吹奏楽の響きが、みなさまをまだ見ぬ宇宙の旅へと誘うことでしょう。

めざましクラシックス in FUKUI
清塚信也ヴァージョン

6.3 土

15:15開場 16:00開演/大ホール
全席指定・車いす席 ¥7,000(小~大学生:半額)
出演/お話し:清塚信也、司会:軽部真一
ピアノ:高井羅人、ヴァイオリン:山本翔平
チェロ:高木慶太
(主催:福井テレビ)



チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛:3/14(火) 友の会:3/15(水) 一般 3/18(土)

人気ピアニスト清塚信也「めざまし」に初登場!

フジテレビアナウンサー軽部真一の軽快な司会が好評の「めざましクラシックス」。福井公演は今注目のピアニスト・清塚信也とのコンビによる新バージョンです。共演の3人は清塚と旧知の仲で息ぴったり。丁々発止の演奏とお話に圧倒されっぱなしのひと時になりそうです。さらにパワーアップした「めざまし」にご期待!



右/お話し:清塚信也 左/司会:軽部真一



オルガン：山本真希



ピアノ：高橋かほる



マリンバ、パーカッション：平岡愛子



クラリネット：南部匠恵

オルガンの響きに包まれて
楽しみながらマナーが身につく

「ハーモニピくにつく」は、子どもたちに音楽鑑賞マナーを身につけてもらうことを目的に2011年にスタート。ハーモニホールふくいのオルガンを中心に、福井在住のアーティストとともに演奏をお届けする45分間のコンサートです。毎回「子どもたちが楽しみながら鑑賞のコツを学ぶことがで

きる」と好評をいただいております。2022年は子どもだけでなくご家族でおいただけできるよう週末に開催。2023年は、より多くの方にお楽しみいただけるよう、日曜日に2公演開催。さらにパワーアップしました。

ナビゲーターは、この企画スタート時から務めるピアニスト高橋かほる。オルガンにクラリネットやマリンバ、パーカッションも加わったのコンサートは心踊るに違いありません。

協賛：(公財)げんでんふれあい福井財団

ハーモニピくにつく
こんにちは、あなたはだあれ？

7.2回

2回公演 ① 9:30開場 10:00開演
② 11:30開場 12:00開演
大ホール
全席指定・車いす席 ¥500(0歳~高校生:¥100)
出演/ピアノ:高橋かほる
オルガン:山本真希
クラリネット:南部匠恵
マリンバ、パーカッション:平岡愛子

チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛：4/18(火) 友の会：4/19(水)
一般 4/22(土)



邦楽四重奏団

編曲：旭井翔一



ピアノ：重森光太郎



日本舞踊：宇津木安栄

多彩なジャンルの作品を手がけ、第23回朝日作曲賞(合唱)や現作曲新人賞(富樫賞)など数々の受賞歴を持つ作曲家・旭井翔一。越のルビーアーティストでもある旭井がプロデュースする本公演は伝統邦楽から現代作品、クラシック音楽まで、「日本」に焦点を当ててお届けする企画です。

邦楽四重奏団は2011年、東京藝術大学邦楽科を卒業した4人(箏・三絃・十七弦・尺八)によって結成されました。「日本の伝統楽器で、今」と、これからの音楽を創るというコンセプトのもと、「作曲家への新作委嘱」現代邦楽の再演「伝統的な古典」の三本柱で活動する注目のグループです。今回はゲストにピアノの重森光太郎と日本舞踊家の宇津木安栄を迎え、旭井の編曲のもと、ジャンルを超えたコラボレーションで「日本の音楽」を多角的にお楽しみいただきます。

協賛：福井新聞社 FBC 福井テレビ

邦楽×日本舞踊×ピアノ
アップデートされる伝統
~古典から現代まで~

6.16金

18:15開場 19:00開演/小ホール
全席指定・車いす席 ¥3,000
(小~大学生:半額)
出演/邦楽四重奏団
(箏・三絃・十七絃:平田紀子、中島裕康 尺八:黒田鈴尊)
日本舞踊:宇津木安栄、ピアノ:重森光太郎
編曲/旭井翔一
邦楽四重奏団
細川俊夫:断章I
三善 晃:流鶯曲水譜
石川勾当:新娘道成寺
武満 徹:雨の樹素描 II-オリヴィエ・メシアンの追憶に

チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛：3/14(火) 友の会：3/15(水)
一般 3/18(土)



アルトサクソフーン：岩本智美

ピアノ：田島詠依乃

ピアノ：前田琴羽

夢の一步はここから
才能が芽吹く瞬間

毎年恒例「若い芽コンサート」は、福井県ゆかりの中高生を対象にした公開オーディションで選ばれたメンバーが出演する公演です。今年も音楽家の卵たちが踏み出す夢への一步を応援しにいらしてください。

共催：福井新聞社

若い芽コンサート2023
8.5土

18:15開場 19:00開演/小ホール
全席自由・車いす席 ¥1,000(小~大学生:半額)
出演/岩本智美、田島詠依乃、前田琴羽
フェスティバル・カルテット(ヴァイオリン:松谷由美、若上杏子、ヴァイオリン:山口梨恵、チェロ:荒井結)
曲目/第1部:ソロ・ステージ、第2部:弦楽四重奏との共演ステージ

チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛：5/23(火) 友の会：5/24(水) 一般 5/27(土)



ピアノ：徳永雄紀

越のルビーアーティスト徳永雄紀は幼少期から日本演奏家コンクールをはじめ数々のコンクールで優勝・入賞を重ね「天才ピアニスト」の名をほしいままにしてきた存在。ハーモニホールふくいが主催する「若い芽コンサート」の初期出演者でもあり、また井上道義指揮のオーケストラ・アンサンブル金沢と共演するなど、早くからコンサート活動も活発に行っていました。そんな

協賛：福井新聞社 FBC 福井テレビ

徳永雄紀
ピアノリサイタル

7.14金

18:15開場 19:00開演/小ホール
全席指定・車いす席 ¥3,000
(小~大学生:半額)
出演/ピアノ:徳永雄紀
曲目/ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ 第31番
シューマン:クライスレリアーナ
ラフマニノフ:コレルリの主題による変奏曲

チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛：4/18(火) 友の会：4/19(水)
一般 4/22(土)



乳幼児向けのオペラ作品も上演 みんなと一緒に体験しよう

最後はコンサートに出演も! 家族で参加して思い出づくり

音の実験場へようこそ
家族で楽しむ5日間

「音」を通して子どもたちの創造性を育むワークショップやレクチャー、そしてコンサートなど多彩な企画でお届けします。夏休み最後の5日間、家族みんなで楽しめる「おと・ラボ」にどうぞご参加ください!

協賛：福井新聞社 ますも証券

おと・ラボ
~いろんな音をつくってきいてみよう~
8.23水~27日

大ホールエリア
講師・出演/フルート:大久保彩子、パーカッション:オリビエ・モーレル
アシスタント/パーカッション:川村法子、フルート:三屋 風
各プロジェクト有料

チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛：5/23(火) 友の会：5/24(水) 一般 5/27(土)

結の故郷越前おおのに息づく アート支援の精神

文 朝倉由希

基盤の目のように整備された、歴史情緒あふれる大野の城下町。その通りの一角に、ギャラリー「COCONOアートプレイス」がある。大野市内の家々には多くの優れた近現代アート作品が所蔵されていて、その数1万点といわれる。COCONOアートプレイスは、それらを展示する美術館として、築約120年の古民家をリノベーションし、2018年3月に誕生した。昔ながらの構造を活かしながら、玄関は街に向けて開放的で、美しい中庭を囲むように3つの展示室が分散配置された明るくモダンな建物である。



大野市民がなぜ多くのアート作品を所有しているのか。ルーツは1950年代から全国的に展開された「創造美術運動」にある。美術を通して子どもの健全な想像力を育てようという運動で、福井県内でも多くの美術教師が共感し熱心に取り組んだ。そこから市民が3点以上の美術品を所有しようという「小コレクター運動」が派生する。これには一



あさくらゆき●福井市生まれ・在住。京都大学文学部卒業。東京藝術大学大学院音楽研究科応用音楽学博士後期課程修了。博士(学術)。アートマネジメント、文化政策を専門とする。2017年度から文化庁地域文化創生本部研究官。2021年4月から公立小松大学国際文化交流学部准教授。現在、文化庁文化創造アナリスト、福井県芸術文化アドバイザー。共著に「文化で地域をデザインする―社会の課題と文化をつくる現場から」(学芸出版社、2020)など。

般市民が美術作品を持ち関心を高めること、無名の作家を応援すること、の2つの意義があった。大野や勝山で熱心に活動が行われ、特に大野では堀栄治氏(故人)が中心となり、画家とのつながりを深め市民に紹介した。こうして多くの作品が大野にもたらされた。

小コレクター運動が盛んだった頃を知る人は少なくなってきたが、市民所有の絵画は大野市の貴重な財産である。COCONOアートプレイスはこの財産を後世に伝えるべく、企画展やワークショップ、セミナーなど、アートに親しめる企画を展開している。今年3月に5周年の節目を迎えるにあたり、記念事業として「市民所有の絵画展」が開催されている。市民が大切に保存してきた作品のうち、特に大野とゆかりの深い、北川民次、キムラリサプロ、幾原らの作品が全館で展示されている。ワークショップには各作家がどのように大野と関わりを持ち、市民と交流を深めたかが説明されており、

作品の前に立つと作家を心から応援した市民のあたたかさ、そんな大野を愛した作家たちとの豊かな関係性が生き生きと伝わってくる。

大野は歴史的に、人々が助け合う「結」の心を大切にしてきた。地域全体で作家を支え、交流を生み出した小コレクター運動にも、結の精神を見てとることができる。現在も、絵画を街中に展示し散策を楽しむ「おさんぽアートミュージアム」や、「アート教室」などを、市民が自発的に実施している。音楽分野でも、市内在住で京都市交響楽団ヴァイオリン奏者の松谷由美さん、そのご子息の壮一郎さんなど優れた演奏家を輩出しており、演奏会に訪れると、市民がみんな支えようという雰囲気につつまれている。

市民が自らアートを楽しみ、身近に触れ、支える。地域にアートが息づくための大切な精神が、結の故郷大野には流れている。

※3月21日まで開催中

Arts Happen!

アートシーンを
を
召し上がれ

アーティスト 高嶋 ゆい



たかしまゆい●福井市生まれ。デザイン事務所「グラフィックデザイナー」勤務の後、2021年に独立。アーティスト活動を始める。

■活動報告はこちら

@_yui_takashima

武家屋敷数田内山家 絵障子展示
(開催中)~2023年3月26日

「Arts Happen!」は、福井県内のレストランやカフェなどで、県内や福井にゆかりのある若手アーティストを中心とした作品を展示・販売する取組みです。



頭でなく手が考えている 創作はそのままの自分になれる時間です

人物と小鳥と風にそよぐカーテン、別のコマには花びらと遠くに月が浮かぶ。高嶋さんの作品、現代版「花鳥風月」。「元々、別々に描いた5枚の絵を1枚に集めてサンプリングしました。デジタルのおもしろさですね」。ドラマのワンシーンのような仕立ては、BGMまで聴こえてきそうです。

一般企業に就職したものの、好きな道で生きていきたいと専門学校でデザインを学び、デザイン事務所に入社。広告制作に8年間携わりました。「クライアंटの思いを形にすることにやりがいを感じていました。でも、もっと個人的なことを表現したくなってきて」。2021年にフリーランスとして独立

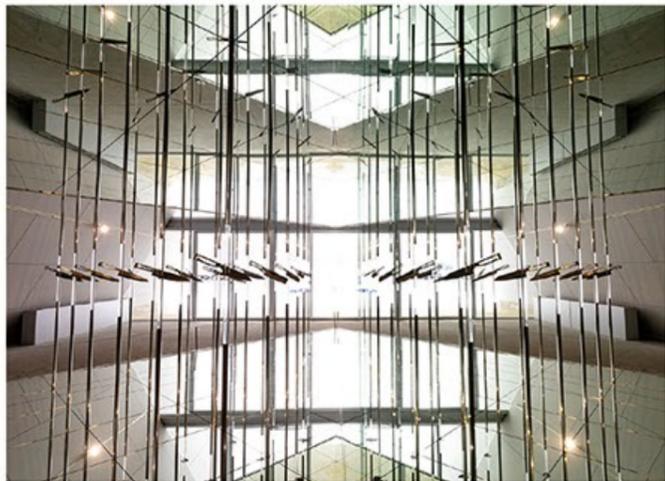
見ていただきたい。色んな人の感じ方を私も楽しみたいです」と高嶋さん。仕事のイラストは頭で考えるけれど、創作の絵は手が勝手に考えてくれるのだそう。「描いている時は写経みたいに無心になれます」。

元々じっくり取り組むタイプ。「毎日描いていると今日はだめだな」という日もあって。でも焦ってもしようがない。創作は、そのままの自分になれる時間だと思っっているんです」



ラジト
福井市高本中央1-2101
TEL / 0776-50-6323
営業時間 / 11:30~15:00(LO13:30) 18:00~22:00(LO21:00)
月曜定休

タケフナイフビレッジ 川崎和男展示室 (越前市)



設置されているオブジェは、全沢21世紀美術館に展示された川崎和男氏の作品を再現したもの。製品の購入者でなくても無料で鑑賞できる。各工房の刃物を展示したギャラリーも見学自由。

タケフナイフビレッジ (越前市余川町22-91 TEL.0778-27-7120)

13の刃物会社が集まる越前打刃物の共同工房。1993年に建築家・毛綱毅曠(もづな きこう)氏設計により本館が完成。2020年には建築家・長田直之氏により三角形のフォルムの新館が完成した。川崎和男展示室があるのはこの新館で、他にショップや見学工房を備える。予約制で体験教室なども開催。

越前打刃物の共同工房「タケフナイフビレッジ」の新館で、写真映えるスポットとして全国から注目を集めているのが「川崎和男展示室」です。天地が鏡張りの間にナイフが整然と並び、硬質な輝きが反射した幻想的な空間が浮かび上がります。

伝統工芸の新たな世界を開拓した功労者。洗練のデザインで、国内はもとより世界に「タケフナイフビレッジ」の名を広めました。オブジェに使用されている刃物は、川崎氏と職人たちが作り上げたオリジナル商品。展示室を見に訪れた人々は、隣接する工房や美しい刃物のギャラリーを目にする事になり、「越前打刃物」の知名度アップにもつながっています。

アートに会いに

Meet the Art

私の好きな

ハーモニーホールふくい



山田和樹(指揮者)

やまだかずき ●東京藝術大学指揮科卒。プザンソン国際コンクール優勝。パミンガム市首席客演指揮者(2023年4月から首席指揮者兼アーティストックアドバイザー就任予定)、モンテカルロ・フィル芸術監督兼音楽監督、読響首席客演指揮者などを務める。ベルリン在住。



大ホールにアツある楽屋のうち、写真は楽屋1(応接室付き個室)。応接室とプライベートになれる部屋があり、指揮者が利用することが多い。ゆったりとした空間であることから、利用者に好評いただいている。

アットホームな 気持ちになれる空間

福井の楽屋は、あの岩城宏之先生がこだわって監修された部屋としてインプットされていきますよ。身体を横にして休めるカウチソファ、スイート・ルームよろしく応接室とプライベートになれる部屋とがほどよく分かれてもいるのも気に入っています。そして、小窓のそとを覗くと…(実際に見てみる)あ、今は雪景色!これも素敵ですね。舞台から一番近くてこの居心地の良さ。家に帰ってきたような、まさに「アットホーム」な空間です。舞台上では音楽を創ることでもエネルギーを放出していただきますので、この部屋のように心身ともにリラクセスできる空間は指揮者にとって本当に嬉しいです。岩城先生に感謝だね(笑)

九十九橋 (福井市)

モノガタリはここから



元々は、柴田勝家が南側を石造り、北側を木造りとして架けた奇橋。葛飾北斎なども描いている。1909(明治42)年の架け替えまでの330年間、半石半木の橋は存続し、1986(昭和61)年にコンクリート桁橋となった。橋から眺める足羽川の河川敷は桜の名所となっている。

テレビドラマ チア☆ダン
TBSテレビ系 2018年7月~9月放送

映画版の9年後の設定で、福井西高「ROCKETS」が全米制覇を目指す物語。藤谷わかば(土屋太鳳)はJETSに憧れるが、姉のおあい(新木優子)がその夢を叶え、自分は挫折。しかし転校生・沙里(石井杏奈)によって、チアダンスへの情熱が再燃する。問題を抱える部員たちや前任校で問題を起こした顧問の太郎(オダギリジョー)らと共に成長する青春ストーリー。

「チア☆ダン」は、福井商業高校チアダンス部「JETS」の実話をもとに、2017年に映画化。さらに翌年、設定を変えてテレビドラマとなり、この時に県内各地でロケが行われました。

「JETS」に入って全米優勝を夢見る藤谷わかば(土屋太鳳)は、高校受験に失敗。隣の福井西高で中途半端な高校生活を送っていましたが、転校生・沙里(石井杏奈)によって、チアダンス部設立に向け立ち上がり、心からエールを送りたくります。

カーテンコール



100人を超える大編成の演奏は、「ハーモニーホールふくい」でも滅多にない機会。壮大なスケールで描く「アルプス交響曲」では、堂々とした自然の激しさや、アルプスの清々しい風を感じさせる美しい旋律で来場者を魅了し、ホルンのバンドや珍しい楽器の登場も相まって、会場は興奮に包まれました。

- 指揮者の一振りに生命力を感じた。金管の幾重にも積みあげた響きの層に活力をいただいた。すばらしい演奏を年初めて聴けて嬉しかった。(60代/福井市)
- ラフマニノフは壮大で迫力あり、アルプス交響曲は雄大で美しく、どちらも新年にぴったりでした。(30代/福井市)
- 中瀬さんのピアノ、素敵でした。(40代/鯖江市)
- 良い演奏会でした。仕事のストレスが吹き飛んだ!ありがとう!(50代/坂井市)

オーケストラキャラバン
ニューイヤーコンサート2023
山田和樹指揮 読売日本交響楽団
ピアノ:中瀬智哉
2023年1月22日(日)開催



左から 榎尾由衣さん
榎尾穂高くん(福井市)

3月にピアノの全国大会にはじめて出る息子に、プロの生演奏を聴かせてたくて来ました。中瀬さんの演奏は表現力が豊かで素敵!息子は「いつか共演したい」と言い、目標ができたみたい。「アルプス交響曲」は、山の情景を想像させるダイナミックな演奏を、親子で楽しみました。



左から 青木 剛さん
青木未来さん(福井市)

アルプスの頂上をきわめる様子を、管弦楽が高揚感たっぷりに表現する場面が、特に感動しました。中瀬さんの迫力あるピアノ演奏には「可愛い顔とのギャップに驚いた」と夫も大満足。着物がコンサートに來たいと思っていたので、今回着ることができてよかったです。

平日午後のおトクな企画「ハーモニーブンカさろん」

芸術文化や食に触れていただける人気企画。文化にまつわるお話と演奏をお聞きいただけます。県内各店のスイーツやコーヒー・紅茶も楽しむのひとつ。

4/18 (火) 第27回 和の響き
時間 / 13:30開演
出演 / お話・演奏 / 邦楽四重奏団から 黒田鈴尊(尺八)、平田紀子(箏)
お話 / 水井推山(福井県文化協議会会長)

6/20 (火) 第28回 赤坂から広がる音楽の輪
時間 / 13:30開演
出演 / お話 / 河野彰子(サントリーホール プロデューサー)
演奏 / 清水詩織(チェロ)、鳥羽亜矢子(ピアノ)

11/12 (日) 第29回 スペシャル
ピアニスト横山幸雄と過ごす贅沢なひととき
時間 / 13:30開演
出演 / お話・演奏 / 横山幸雄(ピアノ)

12/12 (火) 第30回
ホルンの響きにつつまれるノブルな午後
時間 / 13:30開演
出演 / お話・演奏 / 福川伸陽(ホルン)
演奏 / 松下倫士(ピアノ)

<料金>
全席自由:2,000円(スイーツ付は限定100枚)
第27回:3月14日(火) 第28回:4月18日(火)
第29回:8月22日(火) 第30回:10月24日(火)



2022年の公演から

コラボ企画・クラシック音楽アカデミー2023
明日のビジネスに生きる講座を音楽とともにお届けします。
サントリーホールのグローバル広報と普遍的ポリシー
日程 / 6月20日(火) 18:30~19:40
講座料 / 6,500円(9/28公演S席チケット付)

日常を過ごしていると「あつという間」の3年間が、各種行事の中止や生活環境が変化した2020年以降は、いつもより長く感じられたのではないだろうか。先日開催された「公開オーディション」では、21人の若い音楽家たちが日頃の研さんの成果を發揮し、挑んでくれました。一回きりの演奏にける姿は頼もしさに溢れ、応援に駆け付けた聴衆にもそのパッションが伝わったことと思います。厳しい時期にあっても、光輝く過ごし方があるものだ、彼らが示してくれた一日でした。この春からは、ご無沙汰していたことにも取り組んでいけそうな兆しがそこそこきています。ハーモニーホールふくいでも新たなプログラムを整え、皆さまのご来場をお待ちしております。

【ハーモニーホールふくい 特別協賛社ご芳名】 ※50音順
公演協賛社(2023.4-2024.3)
URALA, KANEKA, 日華化学, FUKUVI, JAKUETS, 株式会社 新内, 福井銀行, 福井信用金庫, 福井県信用金庫, FBC, ますも証券

17 ふれあいコンサート in ふくい
19 ぴあ*ぴあーの発表会
20 Fukui Pipe Organ Project vol.3
21 ビティナ・ピアノステップ
28 原田慶太楼指揮
24 第4回 めざまし!! 100人オーケストラ
25 ふくい Wind Brass
11 福井プラスアカデミー
16 <越のルビープロジェクト>

ハーモニーホールふくい コンサート情報
CONCERT INFORMATION
[2023.4.5.6]
4月
2 羽水高等学校
8 VIVA VOCE!
9 プチコンサート
16 フレンド ピアノおさらい会
18 第27回 ハーモニーブンカさろん
20 交流の風ふたたび
23 福井県三曲会
5月
3 福井地区吹奏楽祭
4 第62回
6 沖澤のどか指揮
13 福井室内管弦楽団
6月
3 めざましクラシックス in FUKUI
4 リトル・コンサート
10 ビティナ・ピアノコンペティション
11 福井プラスアカデミー